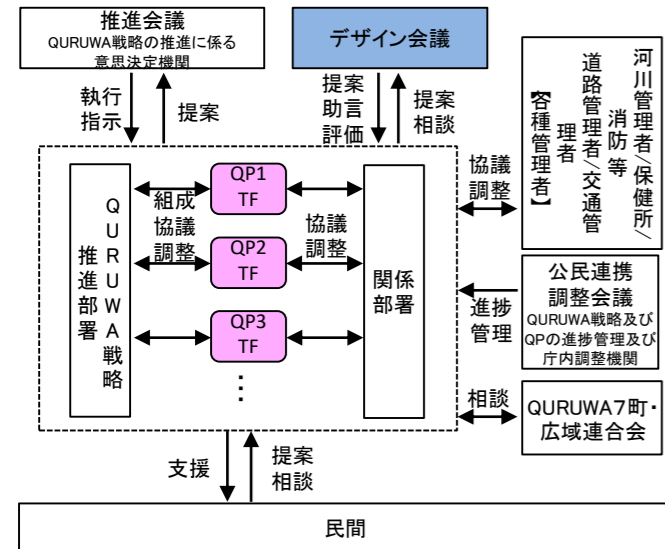
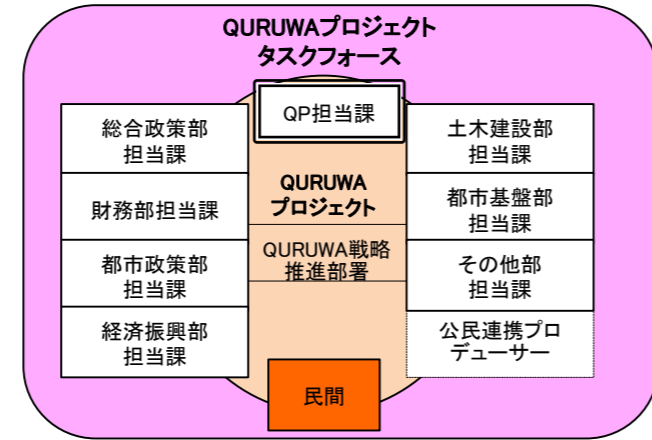


## 推進体制

推進会議の執行指示のもと、QRUWA 戦略推進部署がプロジェクトの掘り起し、プロジェクト化を図ります。



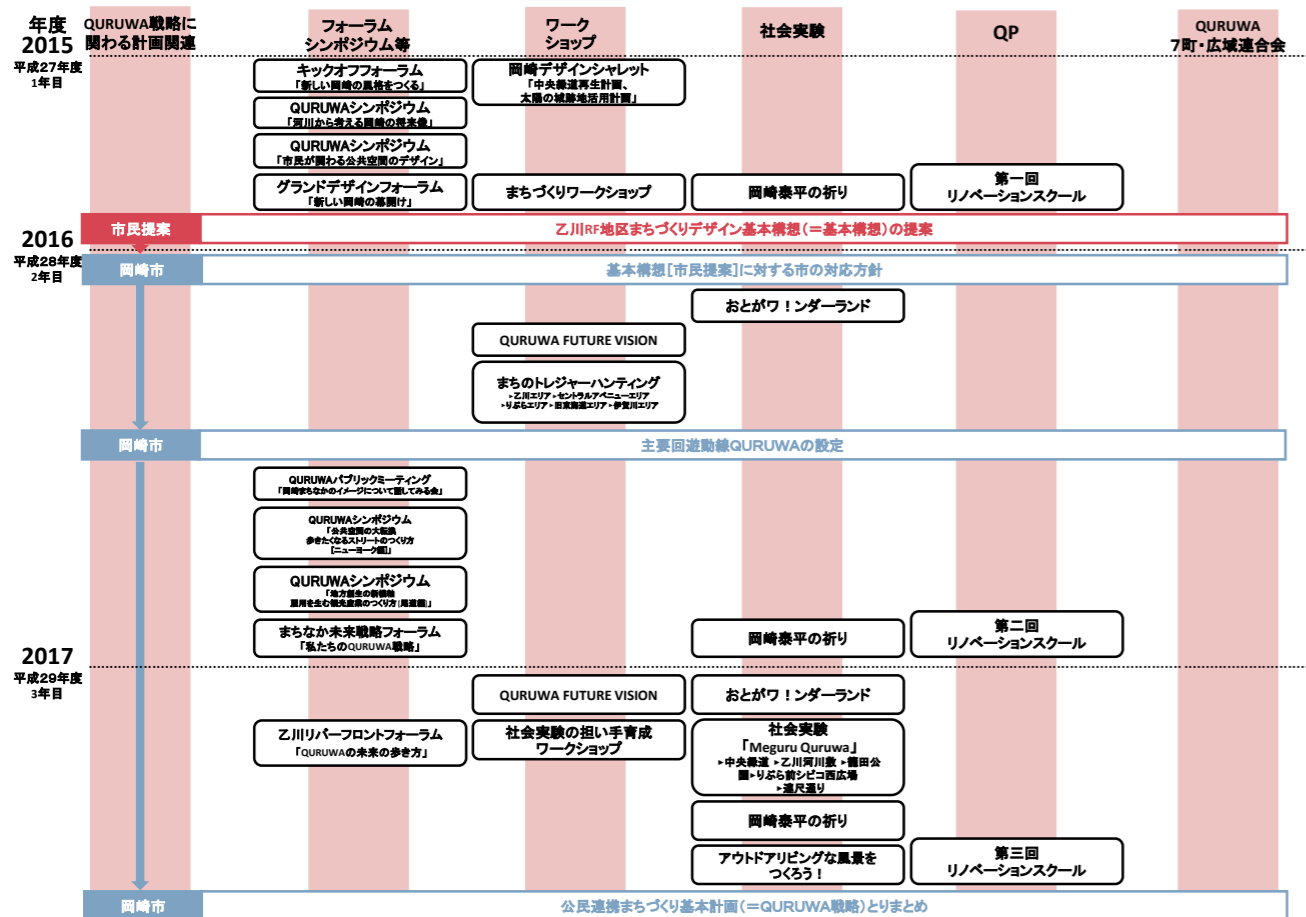
各QRUWA プロジェクトの事業化を加速させるために、各QP 担当課が主体となって部署横断のタスクフォースを編成し、進捗状況に応じて民間も加え、各QP の戦略立案や調整を行います。



※公民連携プロデューサー：公民サービスを民間事業として質を高めつつ転換し、持続可能とするために不動産事業のビジネスに仕立てる役割を担う。

## QRUWA戦略ができるまで

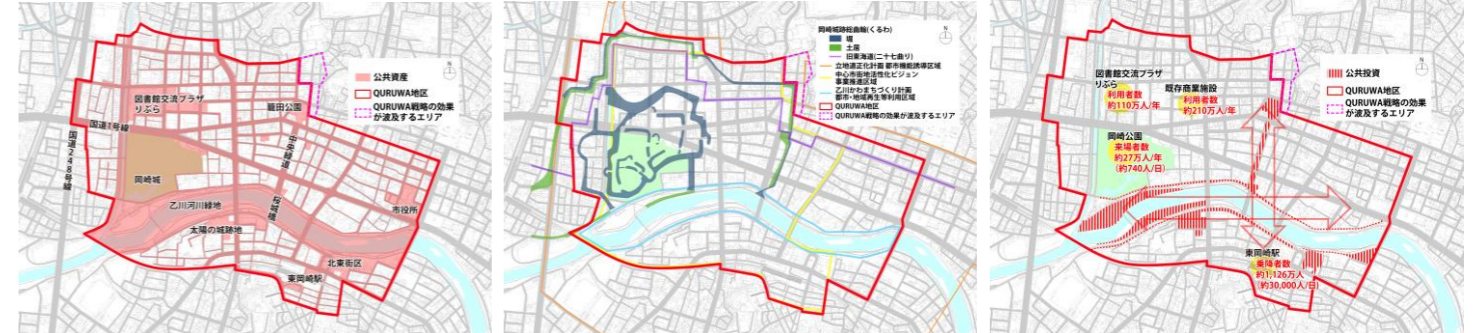
平成27 年度から取り組んできた「まちづくりワークショップ」、「まちのトレジャーハンティング」等の市民ワークショップでのまちづくり提案を受け、「おとがワ！ンダーランド」、「めぐる、QRUWA」等の社会実験を行ってきました。これらを踏まえ、乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画「QRUWA戦略」を取りまとめています。



## 乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画 -QRUWA戦略- 【概要版】

### QRUWA（くるわ）とは

#### ・QRUWAの成り立ち

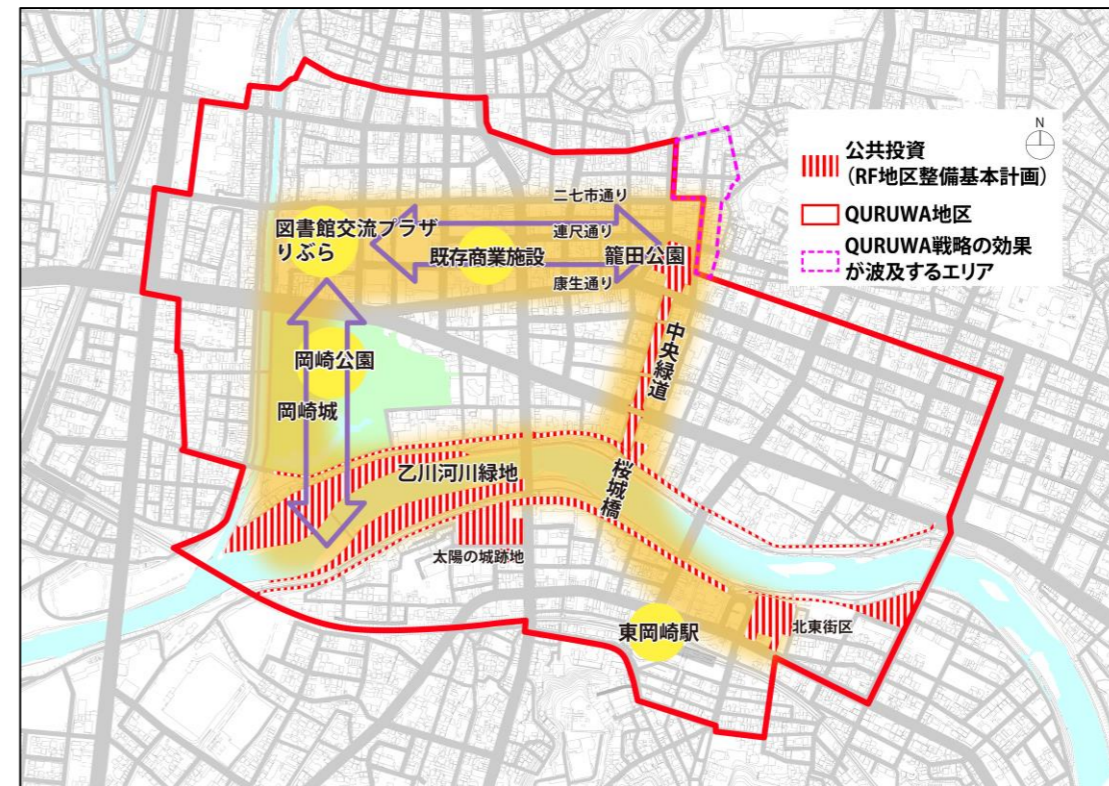


QRUWA地区（約157ha）の約半分を占める河川、道路、公園などの「公共資産」を活かしたまちづくりを推進。

QRUWA地区は岡崎城跡や中心市街地を含み、都市機能誘導区域などの位置づけがある。

QRUWA地区の東西・南北軸への公共投資を行い、既存の集客拠点及び交通結節点を接続。

#### ・主要回遊動線「QRUWA」



QRUWAとは、岡崎市中心市街地の多様な魅力を味わうことができる約3 kmのまちの主要回遊動線。名鉄東岡崎駅、乙川河川緑地、桜城橋、中央緑道、籠田公園、りぶら、岡崎公園など公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線。かつての岡崎城跡の「総曲輪（そうぐるわ）」の一部と重なること、また、動線が「Q」の字に見えることから、「QRUWA」と命名。QRUWA地区・・・主要回遊動線QRUWAを覆う、約157haの乙川リバーフロント（※略称RF）整備の地区。波及エリア・・・QRUWA地区に隣接する徒歩圏内で地域や民間事業者が地域課題の解決等に取り組むエリア。

### QRUWA戦略とは

QRUWA地区内の豊富な公共空間を活用して、パブリック活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図るマインドを持つ民間（事業者市民）を引き込む公民連携戦略。まちづくりの進歩や熟度、社会状況の変化に応じて随時更新する。により、その回遊を実現させ、波及効果として、まちの

# 何のために (Why) QURUWA地区の経営課題の解決

## 市の都市経営状況

- ・経済縮小 (雇用・所得減)
- ・生活環境の悪化
- ・税収減少
- ・歳出増大

## QURUWA地区の経営課題

- ・康生地区の衰退
- ・高齢化の進展
- ・まちの魅力の希薄化
- ・働き方・雇用の多様性の欠如

## QURUWA 地区まちづくりの目的

これからの100年を暮らすウォークラブルなまち  
-新しい住み方・働き方・遊び方を楽しむ-  
公民連携により市民・来街者に新たな交流・体験を通じた「良質な都市空間を楽しむ日常」と「暮らしやすいまち」として、くらし創発都市を実現し、その結果として観光産業都市の創造を目指します。

# 誰が (Who) × どうやって (How) 公民連携手法の導入

## 公民連携まちづくりの必要性

- ・財源に限られる中、都市経営の自立・継続と豊かな公共の実現が課題になっています。
- ・地域課題の解決を進めていくには、民間の巻き込みが不可欠です。

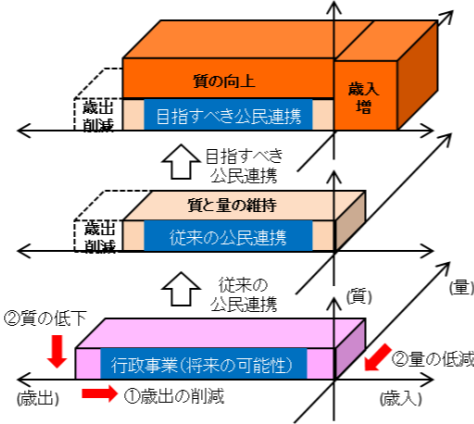
## 民間主導の公民連携まちづくり

- ・公民連携で、公共サービスの質の向上等の+αが実現するか否かは、行政が選んだ民間パートナーに大きく影響されます。

## 公民連携まちづくりの導入

行政と民間が志と責任・権限を持ち役割分担をしながら連携し、地域が抱える多くの課題を解決するとともに、公共サービスの受益最大化を図ります。

事業者市民と連携することで、公共サービスの受益を最大化する図



## 行政

### 民間が活動・ビジネスしやすい環境の整備

- ・戦略的な都市政策づくりと推進
- ・部署連携・関係機関連携
- ・規制緩和・制度改正・運用改善
- ・公共施設・空間の活用・開放
- ・官民フラットな場づくり 等

## 地域

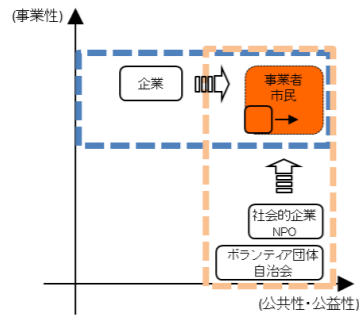
### 自治を担い、公民連携の取り組みの推進支援

- ・地域コミュニティによる防災、福祉などの地域課題の解決
- ・地域の歴史・伝統・文化の継承
- ・行政、民間の活動と連携しながら地域自治を実現 等

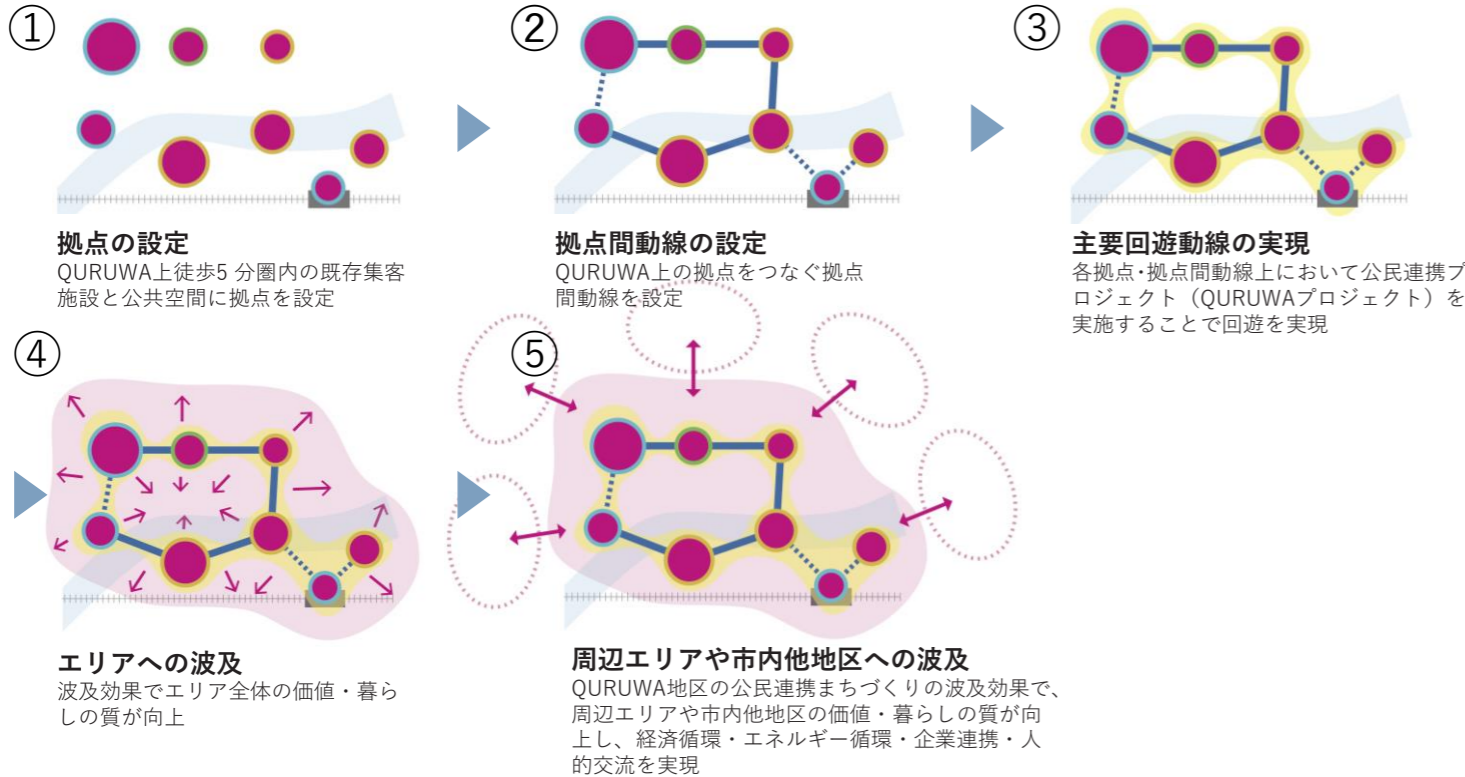
## 民間

### 持続可能で豊かな暮らしの実現に係るサービスの提供

- ・多様なサービスを日常的に提供
- ・地域内消費・雇用の創出など地域経済循環の促進
- ・家守事業/エリアマネジメントの実践 等

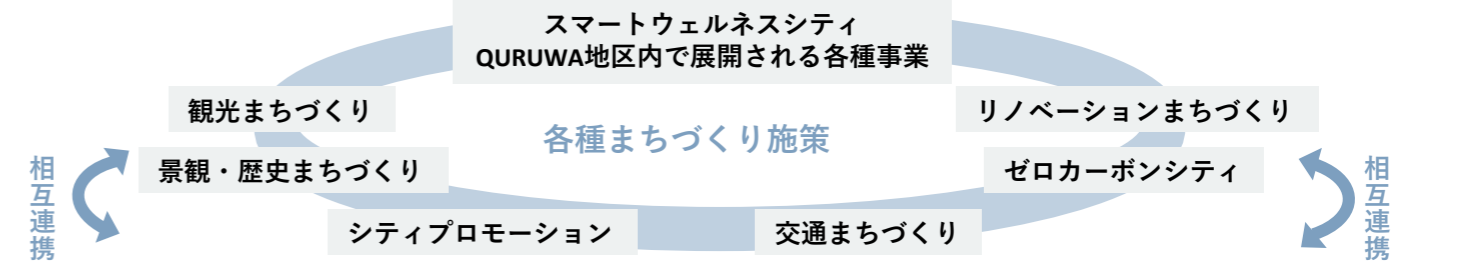
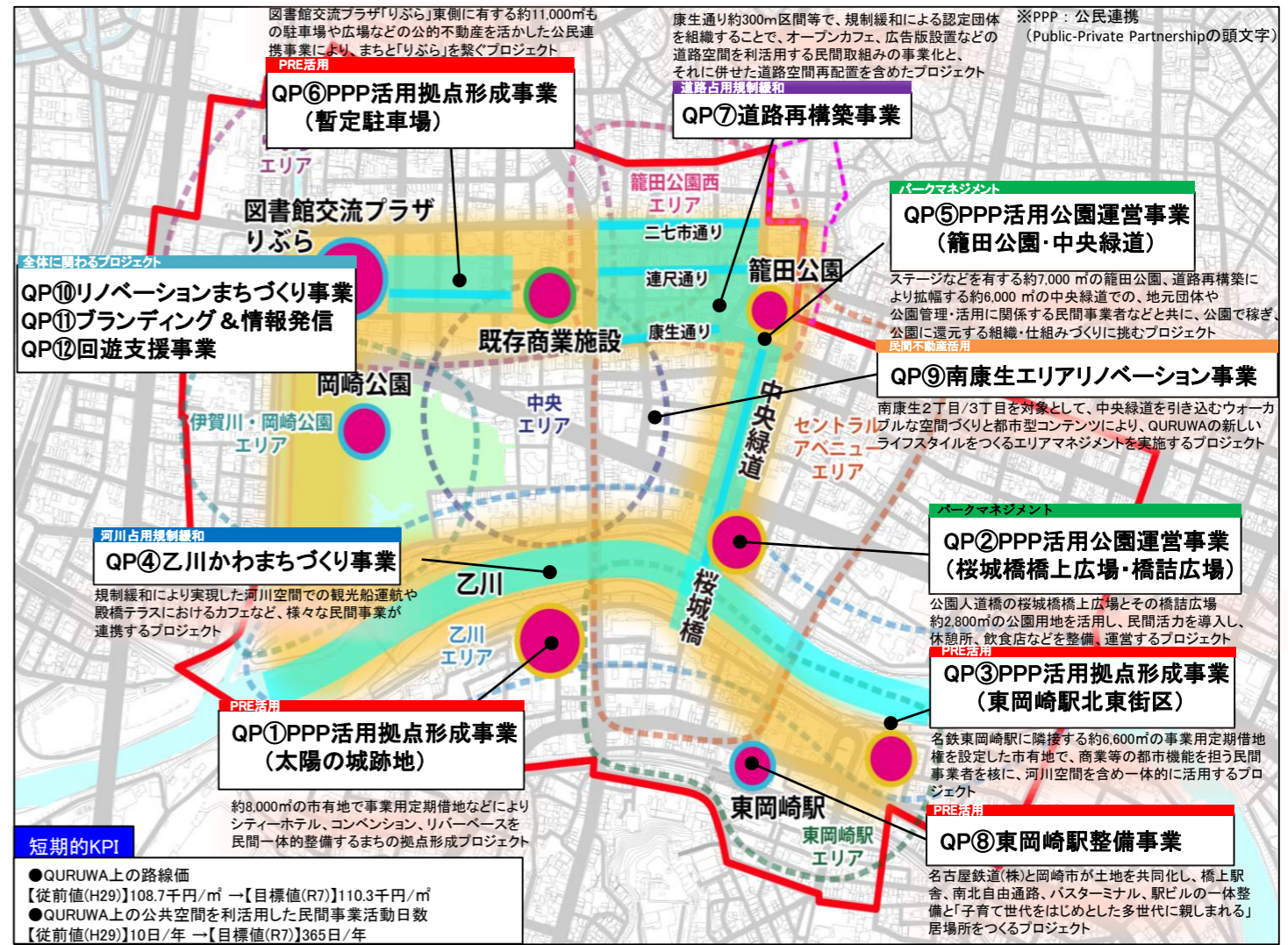


# どこで (Where) 拠点・拠点間動線の設定と活性化プロセス



# 何を (What) QURUWAプロジェクト

※QP: QURUWAプロジェクト



目的	エリアの定義・将来像		拠点/拠点間動線ビジョン			QURUWAプロジェクト		
	りぶら	籠田公園西	りぶら周辺	連尺通・二七市通り・康生通り周辺	籠田公園	中央緑道	橋詰広場周辺	
RF地区全体の定義・将来像 これからの100年を暮らすウォークラブルなまち -新しい住み方・働き方・遊び方を楽しむ-	まち暮らしの玄関口	岡崎ならではのコンテナ街	質の高い空間・りぶらと街をつなぐ機能	沿道建物と一体となった道路活用	エリアの価値を支える街のシンボルとしてのオープンスペース	エリアの価値を支える地域の前庭	街なかへのお迎え空間・街と川の接点としての橋詰広場	QP⑥ PPP活用拠点形成事業 (暫定駐車場)
	自然と都市が交わる暮らし	岡崎の歴史の価値を伝える物語の舞台	個性のある多様な河川空間のつながり	・岡崎ならではのコンテナ街数	・多様な使い方の実現	・街の象徴となる軸の形成	・都市の中の自然が豊かで快適な散歩道	QP⑦ 道路再構築事業
	まちと人がつながるおもてなしの玄関口	岡崎の歴史の価値を伝える物語の舞台	・地先と河川空間の一体的な活用	・歩いて楽しい景観の形成	・アクセス性の向上	・街なかへのお迎え空間	・市民が都市空間を楽しむための川と暮らしコンテンツの充実	QP⑤ PPP活用公園運営事業 (籠田公園・中央緑道)
	岡崎の多様な価値を持つエリアに面する利便性の高い職・住・商地区	岡崎の歴史の価値を伝える物語の舞台	・川と街との接続	・交通結節点機能の補完		・橋詰広場		QP② PPP活用公園運営事業 (桜城橋橋上広場・橋詰広場)
								QP① PPP活用拠点形成事業 (太陽の城跡地)
								QP② PPP活用公園運営事業 (桜城橋橋上広場・橋詰広場)
								QP③ PPP活用拠点形成事業 (東岡崎駅北東街区)
								QP④ 乙川かわまちづくり事業
								QP⑧ 東岡崎駅整備事業
								QP⑨ 南康生エリアリノベーション事業